

2024年8月7日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 福島 秀治  
 (コード番号: 8732 東証スタンダード市場)  
 問合せ先 取締役CFO兼経営管理部部長兼人事部長  
 宇留野 真澄  
 (TEL. 03-4540-3804)

### 2024年7月次 月次概況 (速報) のお知らせ

2024年7月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

#### 記

年月	2024年3月期											
	2023年									2024年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	503	502	431	395	460	449	519	440	525	480	419	497
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	72,285	85,026	102,447	105,809	95,174	78,390	80,247	89,832	99,180	98,970	84,544	83,817
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	360,441	361,481	362,428	363,570	364,294	364,914	365,857	366,704	367,482	368,432	369,293	370,506
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	52,386	52,333	49,506	48,976	48,796	49,372	48,928	48,519	46,681	46,442	45,991	45,178
一般顧客	50,017	50,108	47,361	46,860	46,668	47,166	47,240	46,875	45,007	44,821	44,433	43,962
金融法人 (BtoB)	2,368	2,224	2,144	2,116	2,127	2,206	1,687	1,643	1,673	1,621	1,557	1,215
マネバカード口座数 (単位: 口座)	154,562	154,386	154,304	154,276	154,275	154,273						

年月	2025年3月期											
	2024年									2025年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	556	454	473	530								
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	90,594	105,687	124,056	155,206								
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	371,199	372,637	373,783	375,227								
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	43,640	42,885	42,839	41,853								
一般顧客	42,611	41,887	41,818	40,926								
金融法人 (BtoB)	1,029	998	1,021	926								

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。  
 2. 外国為替取引口座数、マネバカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。  
 3. 2011年8月よりCFD-Metals取引 (差金決済取引) の取扱いを開始しており、CFD-Metals取引における預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。  
 4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとBtoB取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。  
 5. 2022年3月より、暗号資産CFD取引 (差金決済取引) における預り証拠金及び取引高 (売買代金を米ドルに換算) はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」に含めて表示しております。  
 6. マネバカード事業 (資金移動業) は、2023年9月29日をもってサービスを終了しております。

## < 7月次の概況 >

7月の外国為替相場は、米ドル/円については、1ドル=160円台後半で取引が始まり、3日のロンドン市場の取引時間には1986年12月以来、約37年半ぶりのドル高・円安水準となる一時161円台後半（月中高値）を付けました。その後は、軟調な米経済指標の結果等により反転し、11日には一時157円半ばまで下落しました。その後もFRBが9月に利下げに動くとの観測が高まったことで米ドル売りが続いたことや日本政府による「米ドル売り・円買い」の為替介入と見られる動きもあり下落傾向での推移となりました。月末には、日銀の利上げ決定を受け一時149円台半ば（月中安値）まで下落、150円付近で月末を迎えました。米ドル/円は、月間を通じ10円を超える下落となりました。

米ドル/円以外の主要な取扱通貨である欧州・オセアニア通貨についても、米ドル同様、円に対して、月間を通じ大幅に下落しました。

米ドル/円の変動率は、1日の平均値幅が1.677円（前月は1.089円）となり、前月を上回りました。

このような状況のなか、パートナーズFXnano（以下、nano）では、2023年10月2日より「米ドル/円」、「ユーロ/円」、「豪ドル/円」、「ポンド/円」、「メキシコペソ/円」の5通貨ペアにて当社所定の注文数量までスプレッド0.0銭（売買同値）の提示を継続しており、「米ドル/円」では1回当たりの注文数量を1万通貨から5万通貨まで大幅拡大するキャンペーンを続行しております。

パートナーズFX（以下、PFX）では「米ドル/円」のスプレッド0.2銭の提示を20時間（朝8時から翌4時まで）に拡大し、「米ドル/円」以外の主要通貨を含む18通貨ペアでゴールデンマネバタイム（17時から翌3時まで）に業界最狭水準スプレッドを提示するキャンペーンを実施しておりましたが、4月15日から「ユーロ/円」、「豪ドル/円」など主要10通貨ペア、6月21日より残り8通貨ペアのキャンペーンスプレッドを標準化いたしました。

なお、nanoにおいても主要通貨を含む18通貨ペアのキャンペーンスプレッドを6月21日（注）から標準化しております。

（注） nano（第2バンド）の米ドル/円については8時より翌4時までスプレッド0.1銭での提示を7月1日より標準化しております。

また、7月23日からは、PFX及びnanoの第2バンドのトルコリラ/円において、9:00~17:00のスプレッドを2.8銭から1.5銭に縮小するキャンペーンを開始しております。

以上のとおり、現在当社グループでは、「スプレッド全力宣言」を掲げ、主要各通貨ペアにおいて業界最狭水準スプレッドの提示に取り組んでおります。今後も引き続き、お客様が取引しやすい環境を提供できるよう取り組んでまいります。

その他にも、新たに5月27日からは「トルコリラ/円」、「メキシコペソ/円」、「豪ドル/円」をはじめ5通貨ペアを対象にキャンペーン対象期間中に約定した新規買建玉のスワップポイントを最大1ヵ月間大幅増額するキャンペーンを実施しております。

これらの結果、外国為替取引高は、前月比25%増加の1,552億通貨単位となりました。営業収益はトレーディング損益とシステム関連売上高が共に増加し、前月比12%増加の530百万円となりました。外国為替取引預り証拠金は一般顧客分と金融法人分が共に減少し、全体では前月比986百万円減少の41,853百万円となりました。

配当に関しては、6月21日開催の定時株主総会において期末配当5.00円が承認されたため中間配当6.00円と合わせて年間配当は11.00円となりました。当社は2023年3月15日開催の取締役会において、配当性向の用途を従前の親会社株主に帰属する当期純利益の30%から50%へと引き上げる決定を行っており、今回の期末配当の決議はかかる引き上げ後の配当性向の用途に基づいております。

当社は、2023年9月15日にスタンダード市場への選択申請書を提出し、10月20日にプライム市場からスタンダード市場へ移行しております。かかる選択申請にかかわらず、プライム市場の上場維持基準の適合に向けた計画に掲げた数値目標を据え置くこととし、その達成に向けた各種の取組みにつき適時適切に見直しながら継続的に実行していくことで、将来的にはプライム市場の新規上場基準をも充足する企業へと成長すべく、一層の企業価値の向上に努めてまいります。

以上